



外の目の中の目

地域に愛され、活力ある元気な学校をめざして

栃木県立小山北桜高等学校 主幹教諭 川嶋 秀樹

栃木県立小山北桜高等学校
川嶋先生に伺いました



地域に愛され、地域に育まれる学校を創るには、学校もまた、地域社会への貢献が求められる時代へと変わってきている。本校は、平成21年度から本県初の総合産業高校として学科再編し、生産から流通・消費までを一体として学び、産業全般について総合的な知識や技術を習得できる高校となった。

これまで、絶滅危惧種「トウサワトラノオ」の生態研究・保護活動に下野市と連携して取り組んでいたり、小金井駅前周辺には、美化活動の一環として定期的に、生徒が丹精したサルビア・マリーゴールド・インパチェンスなどを植えたプランターを設置し、多くの

駅利用者に見てもらっている。また、yosakoiソーラン部は、毎年「デイサービスにらがわ」に訪問し、演舞を行い好評を得ている。

下野市自治基本条例の基本理念の一つに、「協働によるまちづくり」がある。まさに学校はもっと地域を巻き込んで教育活動を展開(参画)する必要があると考える。

今回、自治基本条例の普及啓発のための「情報紙」に関わることができ、さらに生徒にとって成果のある活動を手を取り合って頑張っていきたいと思う。



らいさまNEWS

市民活動補助事業、下野市制10周年記念市民提案事業が順次実施されています。市ホームページなどで実施情報をお知らせしますので、ご都合宜しければ会場に足を運んでいただくなど、ご支援ご協力をお願いします。

※市のホームページから入り、以下の順でご覧ください。トップページ > 総合案内 > 組織から探す > 市民協働推進課 > 市民活動支援事業 > 【実施予定のお知らせ】平成27年度市民活動補助事業・下野市制施行10周年記念市民提案事業について

編集後記

時代の変化とともに子ども達と地域との関わりが薄れてきたと心配していましたが学校を通しての関わり方に変わってきたように感じました。

今回取材したように小中学生が地域のことを調べ良い所や悪い所について考え、より良くしていこうと協力して活動していることは素晴らしいと思いました。さらに、高校生が地域の人と一緒に活動を続けていることにも関心させられました。私たち大人も、もっと地域のことを知り、皆のために何かできないか考えてみませんか。(おきな)

【表紙】市内保全地に咲き誇る日本一のトウサワトラノオ

情報紙「らいさま」 有料広告の募集

この情報紙を市民と行政そして地域社会の一員である事業所の皆様と協働で作成していく取組として、情報紙「らいさま」に掲載する有料広告を募集します。事業所・企業・自営業等の経営者の皆さん、ぜひこの機会に、下野市のまちづくりの情報紙である「らいさま」に広告を掲載してみませんか？掲載料は1万円から、規格等は広報しもつけに準じます。